

1 学習に取り組んでいる主な分野

<input type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input checked="" type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ()	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校の教育目標は、「自ら学び、認め合い、ねばり強く取り組む子どもの育成」である。ESDの視点に立ち、実社会や実生活の中から課題を見出し、情報をまとめ、表現する力を身につけさせ「社会に貢献できる人材の育成」を目標としている。

主な活動として、○福祉学習○防災・減災○将来に向けて進路（生き方）学習を中心に、横断的・総合的な学習を通して、互いに支え合いながら、社会が成り立っていることを学び、社会に貢献できる人材を目指す。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 人権炭坑フィールドワーク(甘木山徴用犠牲者慰霊碑)

世界遺産に登録された大牟田の炭鉱関連施設。その光の部分だけでなく、影（人権課題）の部分の歴史を学ぶことで、自分たちの住む大牟田市や地域のことをさらに好きになり、自分のこれまでの生き方やこれからの生き方につなげていくようにすることを学んだ。どんなことも、自分のこととして考えていくことが社会を、クラスをよりよくしていくことであり、このフィールドワークを通して、仲間を作ることの大切さを学ぶことができた。



○ 防災教育

干拓地や埋立地が多く広がる大牟田市で、地震や大雨などが発生した際、どのような被害が発生する可能性があるのか、災害が発生した場合、どのような行動をとるべきなのか学習した。段ボールベッドや仮設テントの設営を通して、普段登校している学校が避難所になった際、中学生にできることを協力して行うことの大切さを学ぶことができた。周りの人と協力することの大切さ、日頃からもしもの時の備えをしておくことの大切さを実感することができた。



○ 保育実習

2学期、保育実習を行いました。家庭科の「保育」の学習をした後、保育士の方に園の様子や注意することを話していただきました。それをもとに、年齢に応じて、園児が楽しむことができるような遊びの準備に取り組みました。実習当日は、6か所の保育園・幼稚園に分かれて、園児たちと触れ合い、自分の幼少期を思い出し、想像しながら楽しい時間を過ごしていました。この活動を通して、保育に携わる方々の姿に触れ、実際に子どもたちとかかわることで、幼児を理解するとともに、これまで自分を育ててくれた人の気持ちを考えることができたと思います。また、社会の一員としての礼儀やマナーの大切さも知ることができました。



3 今後の活動計画

令和8年度は、現在の白光中学校のESD教育の柱である○福祉○職業○防災・減災を基盤に、未来につながる教育をめざし、人権教育をはじめ、環境問題など、中学生が今、何をすべきか、できることは何かを考え、将来を見据えて取り組める充実した活動を進めていきたい。そのために、学校外の教育資源である多くの職種や専門的な知識を持たれる方をゲストティーチャーとして招き、幅広い分野での視野を広げていきたい。

1 学年 福祉教育、人権教育、職業学習

2 学年 世界平和、防災・減災、職業体験、人権教育

3 学年 救命救急講習会、保育体験、人権教育、進路選択